社会課題を解決するOKIのDXソリューション」を特集した技術広報誌を発行

成長戦略達成に向けたDXによる事業拡大の取り組みを紹介

沖電気工業株式会社　　2021年11月17日

OKIは本日、技術広報誌「OKIテクニカルレビュー(注1)」238号を発行しました。今回の特集テーマは「社会課題を解決するOKIのDXソリューション」です。OKIグループが、強みであるAIエッジ技術とモノづくりを活かし、ターゲットとする7つの社会課題（老朽化問題、自然災害、交通問題、環境問題、労働力不足、労働生産性、感染症拡大）の解決に向けてお客様やパートナーとの協働・共創で取り組む、さまざまなDXソリューションを紹介しています。

本誌は、当社ウェブサイト（https://www.oki.com/jp/otr/）にも掲載しています。

「OKIの成長戦略」（本特集　巻頭言より）

OKIは2021年7月、経済産業省が定めるDX認定事業者に認定されました。Society5.0時代に向け新たな成長を実現する「DX-Ready」な企業として、「社会の大丈夫をつくっていく。」をキーメッセージとした「中期経営計画2022」に掲げた成長戦略を達成するため、グループを挙げたデ

ジタル変革に取り組み、社会課題の解決に貢献するDXソリューションの社会実装を加速しています。今回の特集では、パブリックソリューション領域、およびエンタープライズソリューション領域における具体的なDXソリューションや取り組み事例とともに、これらを支える特長ある技術をご紹介します。

「OKIテクニカルレビュー」238号　目次

・巻頭言

社会課題を解決するOKIのDXソリューション特集に寄せて（OKI執行役員　田中　信一）

・総合報告

DXによる事業拡大に向けた取組み

・パブリックソリューション

－『フライングビュー®』～人の目とAIの目で見たいものを見逃さないリアルタイムリモートモニタリングシステム～

複数センサー連携による広域現場監視ソリューション～AIエッジで作業現場の安全監視を実現～

－ ため池監視システム

－ 無線・電池駆動の省電力構造物モニタリングシステムと光ファイバーセンシングの長期安定動作フィールド実証実験

交通需要制御の取組み

－ AISION®車両センシング～安全・安心な車流管理の実現へ向けて～

－ 海洋開発の可能性を広げる水中音響通信

－ 干渉型光ファイバーセンサー技術を用いた海洋モニタリングの構想検討

－ 電波干渉回避機能をもつドローン通信システム

・エンタープライズソリューション

－ 本庄工場でのローカル5GのPoC検証

－ 作業内容や作業手順の正しさを判定する行為判定システム

－ インフラ設備の点検作業をDX化するスマート保安ソリューション

・ソリューションを支える技術

－ スマートレコメンド技術による提案型注文システム

－ エリア収音マイク～雑踏や生活音のある環境で話者音声のみの収音～

－ FPGAとPCASによるモデル軽量化を利用したAIアクセラレーション

用語解説

注1：OKIテクニカルレビュー

OKIグループの技術開発の成果や最新の商品について、より分かりやすくお伝えすることを目的に、年2回発行している技術広報誌。1934年1月に「沖電気時報」として創刊され、今日に至る。

リリース関連リンク

「OKIテクニカルレビュー」紹介サイト

・沖電気工業株式会社は通称をOKIとします。

・フライングビューは、沖電気工業株式会社の登録商標です。

・AISIONは、沖電気工業株式会社の登録商標です。

・その他、本文に記載されている会社名、商品名は一般に各社の商標または登録商標です。

・各リリースの記載内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。